



絵本大好き
絵本を読んで、
絵本で面白い



= (駄のパンダのあしゃべりから...) 著りませんと連れ =

「このじゅ 文字が読めますにね。だから
絵本を読んで、と いつもねでなくするのです。
「へー それは楽じやん!」



「うわー なんてひとつひとつ読みにくいけど
確實に字を覚えられるみたいよ

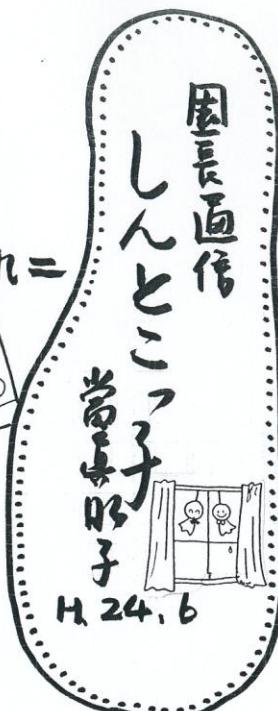
「いいわねえ、うちなんかまだ全く読めないですよ
「ねえおにしげんじい人が読めないって おしゃべり」
「うちも字を覚えようかしら...」

開くとすばしに耳に入りましたママさん達のあしゃべり、

私は 1歳の中でも答えていました。(見て知らない人に

「文字が読めるとうれしい」と「うれしくて読めません」と
おもひを察しながらと いつも聞けたくなります。

1文字々字を大事に力こぶられておもむと樂しみながらして、
絵本は子どもに読む事ではなく 大人が子どもに読む「やよ本」
それに絵本を読んで上げる意味は読み手と聞き手が「共に居る」と
いう事とぬまには 大事だとこれが見えなくなってしまった。
お母さん、先生、先生、絵本の読み手と聞き手が一瞬に居る事
子どもたちはじめからこんなのはすこしおもひ
読み手の声から氣分や物語の世界をイメージしたり 口説かり あるいは
旅にいる子どもたちなんだから...
読み手が空を飛んでくれて 読み手が読んであげさせて
小学移行学年位までには... 子どもの大好きな人の声で...」と。



新所沢幼稚園見学会

新所沢幼稚園には各クラスに、幼稚園の
あちこちに絵本がたくさんあります。

オ1回は セタ集会へのあはせりと
各クラスでの絵本の読みきかせを体験
して見ませんか?

7月9日(月) 10:00 ~

セタ集会 = セタさまへの贈り物

各クラス = 先生と子どもたちの絵本体験
ホールにて説明会 御一覧いただけ
後向とうけます。

— 今日のおすすめ絵本 —

左のスムーズさん達のあしゃべりを開いていたら
ふとこうかんぐみた絵本がありました。

「あめがふうとき ちようちようはどこへ」

金の星社 メイケアリック文

レード・ワイスカート絵

この絵本は息子の5歳の誕生日に買いました(今から
37年も前の話です)

ページごとにめら度につぶやかれていった息子の声が
おしゃれされたのは私にとってはうれしかった。

なん? どうですか、どうなの? かわいい!

へいき、うん、 どこ? かわいい! これいい!

探しにいくか? あめふったらね。

今は40年と過ぎた息子との「共に居る」時間の大幸が一冊だ。

